

ぐんまこどもの国児童会館

にこっと通信

nicotto tsu-sin!



にこっとちゃん

2012.7.15

第38号

発行／公益財団法人群馬県児童健全育成事業団



わくわく 開催期間 2012年 8月4日(土)～9月2日(日)

恐竜ランド

夏休み 企画展 見て! ぶれて! 学べる!

今年の夏は 恐竜がやってくる!?

～同時上映～
プラネタリウム番組
オーロラを見た 恐竜たち

オーロラと恐竜

日時 8月4日(土)～9月2日(日) 9:30～17:00
会場 多目的ホール

迫力の恐竜模型展示や恐竜乗り物で楽しもう!
スタンプラリーや工作などの関連イベントも盛りだくさんです。

★ **プラネタリウム新番組** ★

マジシャン
「名探偵コナン 星影の魔術師」

星影には星が降った
魔術師コナンの
挑戦状

コナン 星影の魔術師

© 青山剛昌/小学館・読売テレビ・TMS1996

平成 24 年 6 月 23 日(土)～平成 25 年 6 月 9 日(日)
上映時間 平日 14:30～
土日祝・夏休み 11:00～/14:00～

ぐんまウォーターフェア

日時 7月27日(金)～29日(日) 9:30～17:00
会場 多目的ホール
主催 群馬県
問い合わせ先 県庁土地・水対策室 (TEL 027-226-2361)

ぐんま **夢大賞** 第21回

次世代を担う子どもたちが未来にみる夢を募集します。

応募方法 所定の応募票を添付し、郵便または児童会館まで持参してください。

募集期間 8月1日(水)～9月2日(日) 必着

その他 作品は未発表の個人作品に限ります。応募作品審査を行い各部門ごとに賞を設け、賞状等を贈ります。表彰式は11月11日(日)の予定です。

部 門	絵 画	童 話
テ ー マ	「ぼくの夢、わたしの夢」	創作童話(テーマは自由)
規 格	四つ切画用紙(約39cm×54cm)	400字詰め原稿用紙10枚以内
対 象	18歳未満	小学生以上18歳未満
	いずれも群馬県内居住又は通学、通勤する方	

休 館 日

7月…2日(月)・9日(月)・17日(火)

9月…3日(月)・4日(火)・5日(水)・10日(月)・18日(火)・24日(月)

★夏休み中の月曜日は休まず開館します

お問い合わせ・お申し込みは



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町 480
TEL. 0276 (25) 0055 FAX. 0276 (25) 0059
URL <http://www.kodomonokuni.or.jp/>



レインスティックを つくってみよう！



「レインスティック」って知っていますか？上下逆さまにすると、雨音によく似た心地よい音がるアフリカ発祥の民族楽器です。今回は家でも手に入りやすい材料で作れるレインスティックの工作を紹介します。

材料・道具

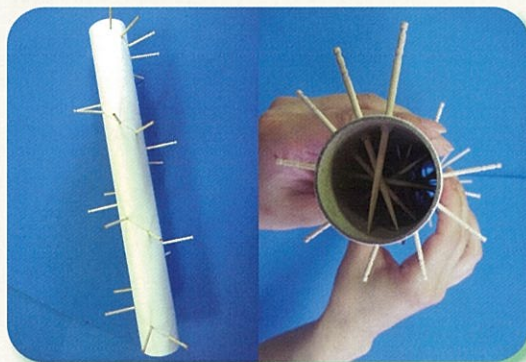
- | | |
|---------------------------|----------------|
| ・ラップの芯（かための素材で長い方がよい）… 1本 | ・めうち |
| ・つまようじ | …開けた穴の数 |
| ・コピー紙（A5程度の大きさ） | … 2枚 |
| ・輪ゴム | … 2本 |
| | ・ペンチやニッパー |
| | ・木工用ボンド |
| | ・小豆、米、小石、ビーズなど |

1 ラップの芯のらせんのガイドに沿って約2cm間隔でめうちで穴を開ける。

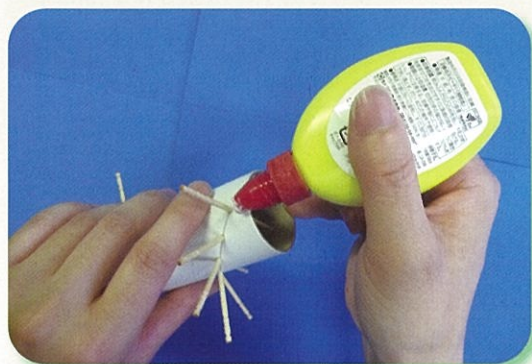
めうちを使うときは
大人の人と一緒にね



2 つまようじの先からラップ芯の穴に入れて、向こう側の壁に当たるまで差し込む。



3 穴とようじの根元のすき間を埋めるように木工用ボンドをつけて乾かす。



4 乾いたらペンチ等でようじの出ている部分を根元から切る。（ささくれ立っている場合は紙やすりなどで削るとよい）

切ったようじが
飛ぶことがあるので、
気をつけてね



5 筒の片方を紙で覆いゴムで留め、もう片方から小豆、米、小石、ビーズなどを入れてから同様にフタをする。



6 まわりをカラーテープなどで飾りつけても楽しいよ。上下にゆっくり動かして音を聞いてみよう！



*フタの紙を布に変えたり、中身の素材をほかのものに変えてみたりするとまた音が変わるよ。ためしてみてね。

いきいきママ講座「おてこをつかった親子コミュニケーション」

赤ちゃんがなぜ泣いているか分からず困ってしまった、という経験は多くの方がお持ちではないでしょうか。今回のいきいきママ講座では、そんな“困った！”を手助けしてくれる『ファーストサイン』について、講師の近藤知子先生に教えていただきました。

ファーストサインは、まだ話すことが出来ない赤ちゃんが手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションを行うことで、親子の意思を伝え合う“視覚言語”とも言われています。5月11日、25日、6月8日の3回1コースで行われた講座では、20組の親子が楽しく赤ちゃんとのコミュニケーションを学びました。



1回目は、日常生活で使える基本的なサインを行いました。「おはよう」「ねんね」「いたい」などゆっくりと語りかけながら繰り返していくにつれて、ママたちの表情が柔らかくなっていく様子が印象的でした。サインを交えての絵本の読み聞かせや手遊び歌の時間になるとすっかり和やかなムードになりました。

2回目は、まずゲームを行いました。“言葉を使わず全員で誕生日順に並ぶ”等の指令に、とまどいながらも見事成功。口を使わないでコミュニケーションをとる体験をしたママは、まだ話すことのできない赤ちゃんの気持ちに寄り添えたようです。続けてソウ、キリン、イヌなど名前が書いてあるクジをひき、ジェスチャー当てクイズをしてから「動物」のサインを学んでいきます。皆さんとても上手に特徴を捉えていて、先生も「表現力が豊かなことは、とても大事な『ママ力』のひとつ。自信を持ってくださいね。」と感心されていました。

3回目は、パネルシアターを使って簡単な歌に乗せてサインをレッスン。雨、車、時計、うどん、りんご、など色々なサインが登場しました。また、今まで学習したサインを織り交ぜた手遊び歌を行いました。自宅でもやってみたというママは

「“おはよう”のサインかな？」と、サインの兆しが見られたと報告してくれました。先生は「動作が出る時期は発達によって異なるので、比べないで続けてみてくださいね。」とおっしゃっていました。

「小さいけれど赤ちゃんも一人の人間で人格もちゃんとあります。その意思を理解してあげられることがファーストサインのいちばんの魅力。」と話す近藤先生。実際にサインのおかげで中耳炎の早期発見や、わが子の出す「パパ」のサインを見た父親が積極的に子育てに参加するようになった、といった嬉しい報告もあるそうです。

先生がファーストサインを教えようと思われたきっかけは“わが子の気持ちをより理解してあげたい”という事のほかに、昨今の核家族化などにより子育てに不慣れなママとその赤ちゃんの意思の疎通を円滑にしてストレスを減らし、親子の笑顔が増えてほしいという願いがあったそうです。

日常でよく使う3つのファーストサインを紹介していただきましたので、皆さんもぜひやってみてくださいね。



ファーストサインをやってみよう

「お風呂」



両手グーを内回しに円を描くようにぐるぐる

「いたい」



左右の人差し指をツンツンくっつける

「だいすき」



片手の人差し指でほっぺをツンツン

紹介します

前橋市児童文化センター

住所 前橋市西片貝町五丁目8番地
電話 027-224-2548
開館時間 午前9時～午後4時30分
(夏休みは5時まで)
休館日 月曜日・第2木曜日
(祝日の場合は翌日)
U R L http://www.jbc.menet.ed.jp/



今年1月に新館オープンした前橋市児童文化センターを紹介します。

前橋市中心市街地の東、広瀬川沿いの前橋こども公園内にあります。公園の木々に自然となじむページュの外観で、館内はフローリングの床と白を基調とした壁が、優しく包んでくれるような雰囲気です。2階建ての館内には、みんなのホールやプラネタリウム、わくわくひろば、わくわくアクア、ほしのみち、ワークルーム、森のデッキなどがあります。

お休みの日は楽しいイベントがいっぱい。取材した日は、あいにくの雨でしたが、館内は元気なお友だちでにぎわっていました。

「わくわくひろば」のわくわくチャレンジコーナーでは「ペットボトルの糸車」を作っていました。お兄さん、お姉さんがやさしく教えてくれるので安心、小さなお友だちも挑戦していました。

「わくわくアクア」は、前橋メダカやナマズ、アメリカザリガニ、サワガニ、ウシガエルなどが見られるミニ水族館。中でもメダカコーナーは充実していて、公園内の



田んぼに放したり、前橋市内の小学校での環境教育にも活用してもらっているとのこと。

児童文化センター

では、多くのボランティアさんが活躍しています。この日は「竹とんぼ作り」や「アートバルーン」を行っていました。子どもたちの年齢や技術にあわせて、ボランティアの方々がていねいに指導してくれていました。参加したお友だちは、自分で作った作品に満足そうな笑顔でいっぱいでした。

最新のハイブリッド型「プラネタリウム」で投影される番組は、どれも児童文化センターのオリジナル番組。小さなお友だちから楽しめる「星座のお話しシリーズ」と様々な天体を楽しめる「天文学シリーズ」があり、毎月新しい番組を投影しています。マスコットキャラクターのプラネくんやコスモ博士が登場する番組の他、係員の生解説があって、季節の星空を満喫できます。

このほかに、児童文化センターには、環境に配慮した施設・設備がたくさんあります。

屋上には「太陽光発電システム」や「太陽光採光システム」を設置して、センターの照明などに活用しています。また「屋上緑化システム」で屋上に土をのせて芝を育てたり、「壁面緑化システム」として建物の壁で「スナゴケ」を育てて、夏の建物の温度を下げています。さらに「雨水利用システム」で、屋上に降った雨を地下タンクに集めて、屋上の芝やメダカ池、わくわくアクアに再利用しています。屋外には公園内を流れる川の水を利用して発電する水車型の「水力発電装置」もあります。

不思議や発見がいっぱい、楽しいイベントも盛りだくさんの前橋市児童文化センター。夏休みには前橋市児童文化センターで素敵な思い出作りをしてみませんか!!

南極の氷にさわってみよう!



南極の氷が児童会館にやってきた! 児童福祉週間関連イベント(共催:群馬県)の一環として、5月3日にサイエンスワンダーランド入口に南極からきた氷を展示しました。これは、南極昭和基地への物資輸送

を行った砕氷船「しらせ」が約4万キロの航海を終えて今年4月に無事帰国した際に持ち帰ったものです。

およそ30センチ四方の貴重な「南極みやげ」を実際にさわれるとあって、9時30分の開館と同時にたくさんの親子が氷に触れていました。「冷たい!」という歓声が次々とあがります。

『氷が溶け次第終了』のこの企画、気温も上昇してくるゴールデンウィーク中なので1日経たないで溶けてしまうかな?と予想していたのですが、なんと翌日4日の午後まで残り、多くの方に楽しんでもらうことができました。さすがは気の遠くなるような年月をかけて固まった氷です。さわったお友だちにはほんのひとときでも遙か遠い南極の気分を味わってもらえたかな。



にこっとちゃん ゆるキャラショーへ参加するの巻



4月15日、上毛新聞125周年イベントがこども国で開催され、イベントの1つである「ゆるキャラショー」に、当館のキャラクターである「にこっとちゃん」が参加しました。この日は、ぐんまちゃんをはじめ、群馬県内各地から15体のゆるキャラが集まり、たくさんのお客様でにぎわっていました。

キャラクター達は、写真を撮ったり、握手をしたりと大忙し。にこっとちゃんは、大きなイベントに参加するのは初めてだったので、やや緊張気味でしたが、たくさんのお友だちと会えて楽しかったそうです。

それにしても、県内にはたくさんのキャラクターがいるんですね。どのキャラクターも、特徴があってとってもかわいらしいですよ。お気に入りのキャラクターはみつかりましたか?

これで、にこっとちゃんもゆるキャラ仲間入り。これから色々な場所に出没するかも?! みかけた時は、大きな声で「にこっとちゃん!」と声をかけてね。

